

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	産業建設常任委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 佐藤
日 時	令和4年5月25日（水曜日）	開 議	午後 1 時 30 分
		閉 議	午後 2 時 26 分
出席委員	◎赤坂、○小川、田中、奥野、藤本、木曾、菱田		
出席理事者	【産業観光部】由良部長 【農林振興課】松本課長、中川副課長 【まちづくり推進部】伊豆田部長、藤本事業担当部長 【都市計画課】田中課長、森田開発許可係長【都市整備課】清水課長、大西副課長		
出席事務局	佐藤主任		
傍聴者	市民1名	報道関係者0名	議員0名

会 議 の 概 要

13:30

1 開議（赤坂委員長あいさつ）

[事務局主任より日程説明]

2 案件

(1) 行政報告

[まちづくり推進部入室]

[まちづくり推進部長あいさつ]

① 開発許可制度に係る京都府開発審査会付議基準の一部条例化について （まちづくり推進部）

[都市計画課長 資料に基づき説明]

13:39

[質疑]

<木曾委員>

資料2の(2)に、露店駐車場と前面道路の例が挙げられているが、これは野水池駐車場における建築基準の内容も含まれるのか。後追いで整備しようとしているのか。

<都市計画課長>

それに該当するものではなく、あくまでも現に適正に運用されている露店駐車場や資材置き場に適用するものであり、野水池駐車場に対して基準を定めるものではない。

<木曾委員>

野水池駐車場は、今回条例化する基準に該当しないということか。
＜都市計画課長＞
そのとおりである。

13:41

② 亀岡運動公園競技場改修について（まちづくり推進部）

[都市整備課長 資料に基づき説明]

13:47

[質疑]

＜奥野委員＞

トイレは洋式にするのか。

＜都市整備課長＞

1階は全て洋式にし、2階は和式と洋式を併設する。

＜奥野委員＞

正面入って、フィールドに行くまでの地面がガタガタになっているが、今回改修するのか。

＜都市整備課長＞

先ほど、第三種公認改修工事について説明させていただいたが、現在、入札まで終え、仮契約まで済んでおり、令和4年6月議会に契約案件として上程する予定である。その工事に合わせて、単費事業として、トラック以外の部分について整備していくように準備を進めている。

＜小川副委員長＞

2階の観客席にある柵が、大分劣化しているが改修するのか。

＜都市整備課長＞

単費事業の中でできるように、財政課と協議していく。

＜奥野委員＞

放送設備はどうするのか。

＜都市整備課長＞

現在、計画に入っていないが、緊急放送を含めて、亀岡運動公園全体として放送設備の一連性を持たせるような計画もあるので、そちらで検討したいと考えている。

＜赤坂委員長＞

できるだけ、単費をうまく活用して、二度手間にならないように、お金をかけてでも早く改修していただきたい。

[まちづくり推進部退室]

13:51

[産業観光部入室]

[産業観光部長あいさつ]

③ 鶏卵GP（選別包装）センター建設補助事業について（産業観光部）

[農林振興課長 資料に基づき説明]

13:56

[質疑]

<木曾委員>

令和4年6月議会の議案審査の際に詳しく聞くと、補助金8億3,995万4,000円以外の総事業費29億400万円について、交付金で措置される等の簡単な概略は。

<農林振興課長>

国の補助金は、補助対象経費の3分の1となっており、あとは自己負担となる。日本政策金融公庫等からの融資を受けられているようであるが、詳細は令和4年6月議会で説明させていただく。

<田中委員>

亀岡市からの直接の補助金はないのか。

<農林振興課長>

ない。

<小川副委員長>

今後、地元説明を行われると思うが、以前千代川町にある養鶏場の建設の際にも、亀岡市はあまり地元に入って行かなかったことがあったので、国からの補助金であっても、亀岡市として地元との調整をしっかりとっていただきたいと要望しておく。

<農林振興課長>

土地の整理等については、株式会社京都協同管理が入っているので、そちらのほうから地元説明をしていただけるように調整している。

<小川副委員長>

亀岡市としても、指導がしっかりできるように、また、情報共有をしっかりとっていただきたい。

13:59

④ 亀岡市土づくりセンター有機肥料生産用車両の整備について（産業観光部）

[農林振興課長 資料に基づき説明]

14:02

[質疑]

<木曾委員>

亀岡市の負担が2分の1ということは分かるが、亀岡市農業公社の負担2分の1というのは、結果まわりまわって、全て亀岡市の負担になるのではないのか。

<農林振興課長>

車両に対して、車両保険がかかっており、車両保険については亀岡市農業公社がかけているので、亀岡市農業公社が充当することとなる。トータル2分の1になると負担額は大きくなるが、例えば、4トントラックは、180万円で免責が5万円と聞いているので、その分は亀岡市農業公社が充当することになる。

<木曾委員>

結果として、11年も使用していたので、保険料もかなり低いと思うので、この金額にはならないと思う。亀岡市農業公社全体の決算を見ても、亀岡市からの補助金での運用がほとんどであるので、結果として、まわりまわって、全て亀岡市の負担になるのではないかという気がするがどうなのか。亀岡市農業公社全体の運営の問題もあるが、農協や株式会社京都協同管理が負担してくれているのか。

<農林振興課長>

株式会社京都協同管理が負担することはないが、亀岡市の負担がないような形で、十分整理する。

[産業観光部退室]

14:05

(2) 行政視察の総括

①新規就農者への支援及び農産加工品の取組について

<赤坂委員長>

事前に提出いただいた意見等を別紙のとおりまとめたが、新規就農者への支援及び農産加工品の取組について、追加する意見等があればお願いします。

(なし)

<赤坂委員長>

このとおりすることとしてよいか。

(全員了)

②鳥獣被害対策について

<赤坂委員長>

鳥獣被害対策について、追加したい意見等はあるか。

<木曾委員>

これでよい。

<赤坂委員長>

このとおりすることとしてよいか。

(全員了)

③木質バイオマスの取組について

<赤坂委員長>

木質バイオマスの取組について、追加したい意見等はあるか。

(なし)

<赤坂委員長>

このとおりすることとしてよいか。

(全員了)

<赤坂委員長>

今後、報告書を作成し、執行部への情報提供やホームページへ掲載していくこととするので、文言等の整理については、正副委員長に一任願う。

14:14

(3) 委員会テーマと委員会の今後の取組

<赤坂委員長>

先ほどの視察の総括を踏まえ、今後委員会として調査研究を深める項目等があれば協議したいと思う。まず、委員会テーマについて、昨年度のテーマは、「地域経営活動の再生及び農林振興の具現化」であり、最終年度も引き続きこのテーマで行くのか、それとも、新たにテーマを決めるのか意見を願います。

<木曾委員>

せっかく視察で下川町に行かせていただいて、京丹波町と連携を取りながらやっていくとおっしゃっていたので、京丹波町の木質バイオマスの取組について、ポイントを絞りながらやっていければと思うし、森林整備と合わせて、木質バイオマスの活用方法を探っていければと思う。

<藤本委員>

京丹波町における木質バイオマスの取組について、勉強して参考にさせていただいて、亀岡市に応用できることがあれば、提言していければと思う。

<木曾委員>

チップにしたものを、堆肥に混ぜて活用できると聞いたので、木質バイオマスの話だけではなく、森林整備することによって、チップを作り、木質バイオマスや堆肥に活用することができるように、柔軟性をもって取り組んでいければと思う。亀岡市にとって、何がフィットするのか考えながらやっていければよい。

<奥野委員>

下川町と比べれば差がありすぎるので、日吉町等で取り組んでいる、亀岡市でできることを探っていければと思う。

<菱田委員>

テーマを「木質バイオマスの活用」としてはどうか。

<赤坂委員長>

テーマを「木質バイオマスの活用」としてよいか。

(全員了)

<赤坂委員長>

今年の委員会テーマは「木質バイオマスの活用」として、残り半年間ほど活動するのでよろしく願います。今後の委員会活動として、7月に、京丹波町に木質バイオマスの取組について視察に行きたいと考えているので、日程調整をさせていただく。7月11日はどうか。

(全員了)

<赤坂委員長>

では、7月11日で、京丹波町と日程調整させていただくのでよろしく願います。

3 その他

<赤坂委員長>

今回は、6月22日(水)、午前10時から、6月議会の議案審査を行うのでよろしく願います。

散会 ～14:26